

平成27年度

年間指導計画

荻窪小学校・久我山小学校 第4学年

荻窪小学校の目指す児童像

「自分や他人を認め、協力し、進んで最後まで活動に取り組む子」

久我山小学校の目指す児童像

「自分も相手も大切にし、失敗を恐れずに挑戦する子」

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級經營	「自尊感情測定尺度」(1回目)で学級の児童の実態を把握する。 児童相互の関係を把握する。	自分のよさや友達のよさの発見に着目した指導を実施する。 保護者会で子どもの実態を知らせる。	個人面談で子どもについて共通理解を図る。	2学期の指導の方向性を検討する。	保護者会で子どもの実態を知らせる。	「自尊感情測定尺度」(2回目)で学級の児童の実態を把握する。	「自尊感情測定尺度」(3回目)で学級の児童の実態を把握する。	「自尊感情測定尺度」(4回目)で学級の児童の実態を把握する。	自分らしさを受け止め、高学年への意欲を高める。 この1年間での自分や他のよさの、伸びや高まりを実感できる指導を実施する。	自分らしさを受け止め、高学年への意欲を高める。	「自尊感情測定尺度」(4回目)で学級の児童の実態を把握する。	
各教科	音楽「表現(歌唱・器楽・音楽づくり)」《通年》 表現や鑑賞等の幅広い活動を通して、自分の表現のよさや個性について気付かせる。	国語「ばらばら言葉を聞き取ろう」 音読発表会を通して互いのよさを伝え合わせる。	国語「よりよい話し合いをしよう」 司会者・参加者の役割を決めて話し合いに積極的に参加するようにする。	総合「感謝の気持ちを伝えようプロジェクト」 家族の支えに気付く。 学習したこと生かして、家族のためにはがんばろうとする意欲を高める。	総合「チョコレートCMを作ろう」 友達と協力してCMを作ることを通して、コミュニケーション力の基礎を養い。人と関わろうという意欲を高める。	総合「巻物の手紙」 身近な人に向けて、目に見えない感謝を巻物の手紙にしたためさせる。	国語「だれもが関わり合えるように」 バリアフリーについて、自ら課題を見つけ、資料から調べ、人の関わりについてを学ばせる。	国語「ごんぎつね」 登場人物の気持ちを自分の考えをもち、友達の考え聞いて考えを深めさせる。	国語「版画「なぞのうちゅう人」木工作「ギコギコトントン」 自分たちの作品や製作の過程を賞して、よさや面白さを感じ取らせる。	国語「時を楽しもう」 詩を読み、詩の中の登場人物になりきつてグループで協力して群読みをさせる。	国語「二分の一成人式」 10歳まで育った区切りに、理解者の存在や周りの人々に支えられていることに気付かせる。	
学習内容	思いやり・親切 相手のことを思いやり、進んで親切にさせる。	生命尊重 生命の尊さを感じ取り、友達や家族の大切さに気付かせる。			個性の伸長 自分の特徴に気付き、よいところを伸ばす。			信頼友情 友達と互いに理解し合い、助け合う心を養う。			思いやり・親切 相手のことを思いやり、進んで親切にする精神を養う。	
道徳	学級活動 高学年に向けての自覚を持たせる。学級目標づくりをする。	運動会 表現活動を通して、支え合うことの大切や励ましてくれる人の存在に気付かせる。	さくら草まつり(荻窪) 久我山まつり(久我山) 自分たちでやろうと決めたことは最後まで粘り強く取り組ませる。	『通年』絵手紙活動 絵手紙での交流を通して、自分の行動が人の役に立っていることに気付かせる。	運動会 表現活動を通して、支え合うことの大切や励ましてくれる人の存在に気付く。	会社パーティ 友達と仲良く協力しながら、楽しく活動したり、自分の役割を果たしたりして活動できるようにする。	地域清掃、ユニセフ募金 世界や地域などに目を向けて貢献意欲を高める。	6年生を送る会 卒業生に今までの感謝の気持ちを伝えさせる。				
特別活動	1年生を迎える会 入学を喜ぶとともに、下級生に優しく接しようとする態度を育てる。	『通年』縦割り班活動 異年生交流を深め、思いやりの心を育てる。	『通年』構成的グループエンカンター エクササイズを通して、友達の考えのよさや違いを知り、肯定的に認め合えるようにさせる。	学芸会 進んで美しいもの・よりよいものを創りだすこと、自分の個性をもたらす自分の個性を生かそうとする意欲をもたらせる。	学習発表会 自分が取り組んだ作品を発表する。鑑賞を通して、友達の作品のよさを見付けさせる。	子供園との交流給食 子供園の園児のためにできることを考え、実行し、できたことを認めさせる。	人権カレンダー 友達の存在の大切さや、多くの人が関わり生活していることに気付かせる。					
指導方法	体育 出来るようになりたい技や上手くなったり技をきめ、努力する。 技の発表会をすることで成果を発表する場を作る。 ペア(グループ)学習を通して、教え合いしさえ合いができるようにする。	小集団活動 ペアやグループで学習させることにより、友達と支え合っているよさについて気付かせる。	伝え合い・学び合い 小集団活動などを通して、自分の考え方や意見を人に伝えることにより、考え方の相違点・一致点に気付き、理解者の存在や相互理解の大切さを気付かせる。	発表の工夫 児童と説明する児童を書き方で、友達の考え方を理解する態度や発表の仕方の良いか悪かったことを出すことで、自己を肯定的に見ることができるようにする。	ノート指導 学習の振り返りで、自分の頑張ったことや友達の良かった意見を書きかせることで、自分のよさや友達のよさについて気付かせる。	既習事項を生かして課題を解決する 学習のつながりを意識することで、「できるようになった」「一人でできた」という自分の努力を評価する。						
教室環境 言葉掛け	係活動 自分たちで、責任を持って係活動を行われることで、学級の友達のためにできることを考え、学級への貢献意欲を高める。	認め合う場 帰りの会で、友達のよかつたところを発表させ、認め合うことができる学級風土をつくる。	既習事項の掲示 単元の学習内容が見えることで、安心して授業に取り組むことができる環境をつくる。	認め方の工夫 場:個別、全体 伝え方:何がいいのか具体的に 内 容:できたこと 取り組んだこと 取り組もうとしたこと	教室整備 余計なものは置かない。 整理整頓をする。 プラスの言葉掛けを意識する。	言葉掛けの工夫 「～はだめ」×「～しよう」○						

■ 荻窪小学校での取り組み

■ 久我山小学校での取り組み

■

荻窪小学校・久我山小学校共通の取り組み